

令和3年度

事業報告

社会福祉法人リベルテ

社会福祉法人 リベルテ

令和3年度事業報告

平成9年より運営を開始し、今年で25年を迎え法人の基盤強化と事業の発展を模索してきたところである。この社会福祉法人は、多様な福祉サービスがその利用者の意思を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として運営しております。社会事業としては特別養護老人ホーム、保育所の運営、一時預かり事業等を行っております。

令和3年度もコロナ禍の影響で予定していた行事や地域との交流などに制限されることがあり、施設内での相違工夫をしながら行事等を進めた1年でした。

【施設設備状況】

設備等の老朽化により室内外の整備の業者契約を行い整備し、設備の安全性を高めました。

コロナ禍の影響もあり、衛生面での機器の備え、(サーモカメラ・オゾン機器・自動噴消毒器の導入) 感染防止対策強化を図りました。

飛沫感染防止の亚克力板の設置

遊具の安全点検の充実

防犯カメラの設置

施設保護者に緊急時及び施設の連絡等に一斉メールの配信開始

施設内の機器の整備

安全面と衛生面の職員の意識を高め、感染防止に法人全体が努めた1年である。

【職員の確保と資質向上】

適正で安心した施設運営を行い、利用者の施設環境の充実を図るため、職員の資質向上を目指し、日頃より努力し、日常業務が円滑に進められるよう人員の確保にも追われた1年であった。積極的に外部研修参加、個々の日常業務の努力が見られた。今後も職員の安定、安心できる環境設定に心掛け取り組んでまいります。

法人の運営

令和3年度 社会福祉法人リベルテ理事会等の報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

月 日	項 目	内 容
令和3年5月22日 (土)	法人 決算監査	令和3年度法人会計全般、定款細則12条による (別紙監査項目と監査結果について)
令和3年5月30日 (日)	第1回定例 理事会	理事長及び業務執行理事職務実行状況報告について 議案第1号：令和2年度事業報告の承認について 議案第2号：令和2年度収支決算報告の承認について 議案第3号：役員選任候補者の推薦について 議案第4号：評議員会開催日程
令和3年6月13日 (日)	第1回定例 評議員会	議案第1号：令和2年度事業報告の決議について 議案第2号：令和2年度収支決算報告の決議について 議案第3号：理事の決議について 議案第4号：監事の決議について
令和3年6月13日 (日)	第1回臨時 理事会	議案第1号：理事長選任について 議案第2号：業務執行理事の選任について
令和3年12月28日 (火)	第2回定例 理事会	理事長及び業務執行理事職務実行状況報告について 議案第1号：サンホーム真壁補正予算について
令和4年3月26日 (土)	第3回定例 理事会	議案第1号：令和4年度事業計画(案)について 議案第2号：令和4年度収支予算(案)について 議案第3号：保育園長変更について 議案第4号：りんりん保育園運営規程一部変更について 議案第5号：保育園給与規程一部改正について

定期報告等：法人現況報告について・法人変更登記

諸規則等の改正：諸規則等を必要に応じて改正

令和3年度 サンホーム真壁 事業報告

特養・短期入所

令和3年度の入所稼働率（短期入所含む）は、82.2%でした。

平均介護度3.8

特養の入所要件が要介護3以上となり重度化しておりますが、重度化に対応するために嘱託医との連携を図りながら、入所者の健康管理を行いました。

また、利用者が施設で最期まで自分らしく暮らせるような環境作りを行いました。

令和3年度は5名の利用者を施設で看取りました。

新型コロナウイルス感染症対策について

基本的な感染対策として、1日2回の検温・うがい・手指消毒・マスク着用・換気・施設内消毒を行いました。

感染症対策委員会が中心となり、全職員が危機意識を持ち取り組むことができました。

面会については、ご家族にご理解・ご協力をいただきガラス越しでの面会を行う等制限をさせていただきました。

職員の資質向上の取り組み

令和3年度は、オンラインを活用し職員一人ひとりが、それぞれのキャリアに応じて能力や資質を高めていけるよう研修に参加しました。

また、介護技術研修は全職員が参加し、技術の向上と情報の共有化を図りました。

令和3年度 サンホーム真壁 行事・催事等の報告

月	行事名	実施内容
4月	花見	桜花見（市内ドライブ）
	地域貢献事業	地域清掃活動
5月	端午の節句	菖蒲湯の提供
	母の日	レクリエーション、プレゼント、おやつバイキングの提供
	誕生会	4,5月生まれ誕生会、行事食（リクエストメニュー、ケーキ）
	地域貢献事業	地域清掃活動
6月	父の日	レクリエーション、プレゼント、おやつセレクト、フリードリンク
	地域貢献事業	地域清掃活動
7月	七夕まつり	七夕飾り、行事食の提供
	誕生会	6,7月生まれ誕生会、行事食（リクエストメニュー、ケーキ）
	地域貢献事業	地域清掃活動
8月	納涼祭	レクリエーション（射的、屋台） 行事食の提供
	地域貢献事業	地域清掃活動
9月	誕生会	8,9月生まれ誕生会、行事食（リクエストメニュー、ケーキ）
	敬老会	長寿のお祝い、プレゼント、行事食の提供
	地域貢献事業	地域清掃活動
10月	運動会	運動会（大玉転がし、パン食い競争）、行事食の提供
	地域貢献事業	地域清掃活動
11月	みかん狩り	サンホーム農園でのみかん狩り
	紅葉ドライブ	筑波山・大宝神社へドライブ
	誕生会	10,11月生まれ誕生会、行事食（リクエストメニュー、ケーキ）
	地域貢献事業	地域清掃活動
12月	クリスマス会	レクリエーション、プレゼント、行事食の提供
	餅つき	餅つき、行事食の提供
	地域貢献事業	地域清掃活動
1月	新年会	ベネミールによる握り寿司の提供
	誕生会	12,1月生まれ誕生会、行事食（リクエストメニュー、ケーキ）
	地域貢献事業	地域清掃活動
2月	節分	豆まき、行事食の提供
	地域貢献事業	地域清掃活動
3月	ひなまつり	玄関ホール雛人形観賞、行事食の提供
	誕生会	2,3月生まれ誕生会、行事食（リクエストメニュー、ケーキ）
	地域貢献事業	地域清掃活動

令和3年度 サンホーム真壁 会議・委員会報告

【会議・委員会】

会議・委員会名	開催頻度	内 容
施設会議	毎月開催	施設運営全般について
入所検討委員会	〃	入所希望者の情報共有、検討会 (各関係機関等への参加要請)
給食委員会	〃	献立や食事の提供方法の見直しなどの検討
環境整備委員会	〃	施設内・外の自主点検 備品の在庫管理
レクリエーション委員会	〃	催事等の実施内容の検討など
リスクマネジメント委員会	〃	事故の予防や再発防止の検討
感染症対策委員会	随時開催	感染症などに対する対応方法の検討など
褥瘡委員会	〃	褥瘡予防や対応方法の検討など
看取り委員会	〃	嘱託医の指導(終末期介護の趣旨徹底など)
身体拘束委員会	〃	身体拘束廃止に向けての取り組み
担当者会議	〃	入所者の情報の共有及び計画書の策定など

【その他】

項目	実施日	内 容
防災訓練	令和3年12月17日	総合訓練
	令和4年3月19日	夜間想定総合訓練
苦情処理	無	無

令和3年度 保育園事業報告書

東平塚保育園

今年度もほぼ1年間コロナ禍の年であり新しくオミクロン株が蔓延し、当園でも園児が新型コロナウイルスに感染し、やむなくクラス閉鎖をすることが2度程ありました。職員も数名濃厚接触者になりましたが園は通常通り開けることができました。その際、今年度から本格的に一斉配信(オクレンジャー)を導入したことはタイミングよく、伝達をスムーズに送れて大変良かったと思っています。しかし、まだまだコロナ禍である為、油断せずに対応していきたいと思っています。その他では1月にはノロウイルスが蔓延し、保健所に連絡。同日保健所の監査が入りましたがコロナの感染拡大中であった為、聞き取り調査と感染防止対策の指導がありました。終息には約10日ほどかかりましたが、その後は手洗いや保育室の清掃の強化を一層念入りに行っています。

また、りんりん保育園で園バスを使わなくなった為、この園バスを借りてミカン狩りや近くの植物園など、園外保育を行うことができました。コロナ禍で、遠足やサンホームでの芋ほりなどができなくなっていたので園児バスが使えたことは、子どもたちにとって楽しい思い出の一つになりました。

その他の園内行事は昨年と同様で、運動会のみ保護者の参加ができました。発表会は、蔓延防止期間中の予定であった為、やむなく今年度もビデオ撮影となりDVDを配布致しました。

今年度は、空調機(GHPの制御不能)を新しくしたことや、滅菌庫の買い替え、食洗機の導入等大きな備品関係の修繕や購入がありました。

1. 保育園の運営

ア) 利用者状況

クラス	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5歳児	12	19	19	18	18	17	17	17	17	17	17	17	17
4歳児	12	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
3歳児	20	19	19	19	19	19	19	18	18	18	18	18	18
2歳児	17	17	16	18	18	18	17	17	17	17	17	17	17
1歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
0歳児	9	9	9	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9
合計	90	94	94	92	95	94	94	91	91	91	91	91	91

イ)職員体制(計 24名) 4月1日現在

園長	1名	保育士	12名	栄養士	1名
主任保育士	1名	非常勤保育士	4名	調理員	1名
副主任保育士	2名	看護師	1名	補助職員	2名

2.保育の実施状況

- 指導計画に基づいた計画的な保育を行うことで情緒が安定し心身共に健康的な生活が送れるよう進めてきた。
- 各園児の発達状況に合った保育を展開し、規則正しい生活習慣を身につける為の援助を行ってきた。
- コロナ禍で異年齢保育ができなかったが、園内行事を通して、思いやりの気持ちや憧れの気持ちが持てるよう配慮しながら進めてきた。

主な園内・園外行事

実施日	内 容	場 所
4月1日	入園式・進級式	一時保育室
6月3日～22日	未満児・以上児個別面談	多目的ホール
7月7日	七夕集会	多目的ホール
7月22日	ジャガイモ掘り	中庭畑
7月29日	夏まつり	多目的ホール・中庭
10月4日	サツマイモ掘り	駐車場側畑
10月21日	運動会	園庭
10月29日	ハロウィンパーティー	園舎内
11月30日	お店屋さんごっこ	一時保育室
12月24日	クリスマス会	一時保育室
1月13日	餅つき	多目的ホール
1月20日	なわとび大会	園庭
1月24日	凧あげ大会	園庭
1月27～2月28日	未満児・以上児個別面談	多目的ホール
2月3日	豆まき集会	多目的ホール
2月下旬	発表会(CD配布)	各保育室
3月3日	ひな祭り集会	多目的ホール
3月15日	お別れ会	一時保育室
3月29日	卒園式	一時保育室

※ その他、誕生会(毎月)、野菜の苗植え、クッキング等
ア) 健康管理

- ・内科検診 年2回実施 (6/7・11/1)
- ・歯科検診 年2回実施 (6/22・11/19)

イ) 食育(給食)

- ・「食を楽しむ」ことに取り組み、季節の素材や郷土の食材を積極的に取り入れてきた。
「ブリ解体ショー」では、大きな魚に触ったり持ち上げたりして触れ、解体をすることで命をいただくことの大切さを知る機会となった。
- ・クッキングでは、体験を通して実際に作る楽しさを感じ、食への関心を深めることができた。
- ・畑で季節の野菜を育て、育てることの大変さ・収穫したものをおいしく食べる体験ができた。
- ・保護者や医師と連携し、アレルギーの相談や除去食の提供を行った。(給食会議 月1回)

ウ) 安全対策

- ・ヒヤリ・ハット報告書の事例を検証し事故要因の解消に努め、事故件数の減少に取り組んだ。
- ・災害時に備え避難訓練を行った。

実施日	内容	消防立合	実施日	内容	消防立合
4月20日	避難訓練の大切さ	無	10月22日	園内火災	無
5月25日	地震からの火災	無	11月22日	風水(竜巻)	無
6月25日	火災(通報訓練)	有	12月16日	火災(通報訓練)	無
7月21日	地震	無	1月31日	地震	無
8月24日	風水(竜巻)	無	2月18日	風水(竜巻)	無
9月29日	地震 園児引き渡し訓練	無	3月11日	地震・火災	無

エ) 防犯訓練(年3回 実施)

6月14日	不審者想定	10月19日	一時避難	3月9日	二次避難
-------	-------	--------	------	------	------

3.職員

ア) 衛生感染対策

- ・定期健康診断(11月) ・保菌検査(毎月(10月～3月ノロウイルス実施))
- ・インフルエンザ予防接種(職員全員接種)
- ・新型コロナウイルスワクチン接種1回目・2回目全員接種
3回目の3月末現在約2/3接種

イ) 会議

- ・職員会議(毎月) ・給食会議(毎月)・以上児会議・未満児会議・リーダー会議等随時月の予定確認やクラスごとの様子、各家庭の状況を話し合い情報・認識の共有に努めた。行事においては反省点を踏まえ、次年度の課題として取りまとめた。

ウ) 園内・園外研修

・職員の資質向上を目指し各研修に参加した。

園内研修状況

開催日	研修名
5月27日	設定遊びの工夫・お絵かきレッスン(造形遊び)
6月29日	プール遊び・水遊びの工夫・安全管理について
7月19日	リズム(子供の発達を促すリズム遊び)について
8月11日	気になる子への対応と保育の進め方、気になる子の保護者対応
9月10日	安全対策、事故やけがの防止と対策(ヒヤリハット集計より)
10月8日	非認知能力の向上を図る保育
11月11日	保護者支援・子育て支援
12月14日	保護者からのクレームに対する対策と対応
2月8日(1月分)	虐待予防(子どもの権利条約)
2月24日	子どもを尊重する保育
3月29日	ヒヤリハットから学ぶ子どもの安全対策と事故防止

園外研修状況

実施日	内 容	
6月22日	子育て支援従事者の為のスキルアップ講座	参加
7月2日	つくば市民間保育園等園長会 講義:新型コロナウイルス感染対策について	オンライン
7月27日	子育て支援従事者の為のスキルアップ講座(骨盤矯正ヨガ講座)	参加
9月21日	令和3年度保育士(中堅)研修Ⅰ(事故から考える危機管理)	オンライン
9月22日	令和3年度第2回保幼小接続担当者研修	オンライン
9月28日	令和3年度保育士研修Ⅰ(まなざしで保育が変わる)	オンライン
10月28日	令和3年度保育士研修Ⅱ(遊びの中で子どもは育つ)	オンライン
11月19日	令和3年度食育「アレルギーの栄養と調理の工夫」	オンライン
12月13日	令和3年度保育士研修Ⅱ「乳幼児保育の役割」	オンライン
3月10日	令和3年度保育研究発表会「メディアとの上手な付き合い方」	オンライン

5.家庭との関わり

・その日の主な活動をホワイトボードで知らせたり、写真などを玄関やテラス側に貼り出した。

- ・園だよりや保健だより、給食だよりなどでも園内の様子や、取り組み等を保護者に伝えてきた。
- ・未満児は保護者と毎日連絡帳の交換を行い、家庭での生活と園での生活の情報を共有した。
- ・緊急時の連絡方法としてオクレンジャー(配信システム)を利用。
 - (ア)保育参観
 - ・年2回を予定していたが、コロナ過で実施できず個別面談で対応した。
 - (イ)苦情・要望
 - ・保護者からの苦情・要望に対して迅速に説明または改善を行うが、今年度は無かった。

6.地域とのかかわり

コロナ過で今まで行っていた様々なイベントがなくなり参加が難しかった。
毎年行っていた春日小のわくわく秋ランドでは小学1年生が作ってくれたまつぼっくりのけん玉やどんぐりゴマが届き、年長児みんなで遊ぶことができた。お礼に遊んでいるところの写真や手紙を送り間接的ではあるが、交流となった。届いた時期が3月に入ってからだったので、もうすぐ小学校という気持ちが子どもたちには良い刺激になっていた。

	項目	評価項目	
		現状（良かった点・悪かった点）	改善点及びその取り組み
子どもの発達援助	保育の方法・内容	<p>コロナの感染対策をしっかりと行い、合同保育をできるだけ避け、感染拡大を防ぐ対策を取りながら保育を進めてきた。特に未満児の玩具の扱い方を工夫し、常に洗ってあるものや消毒済のものを使うようにしてきた。また、できるだけ外気を入れたり、戸外での遊びを増やすなど保育の進め方を各クラスで工夫してきた。</p>	<p>新型コロナ感染が出て2クラスの閉鎖をしたが、職員不足の中、感染拡大を防ぐ為合同保育はせず、職員のシフトを変更するなどして保育に当たったが、2クラス以上になった時はさらなる対策が必要であることが分かった。徹底した感染予防対策と、子どもたちには肯定感を持った言葉がけや自信が持てるような働きかけが必要と感じた。</p>
	発達援助の基本	<p>計画に沿った保育を進めながらも、コロナ禍で行事の変更や見直しも多くあったが、新しく取り入れた行事もあり、各クラスが年齢にあった取り組みを楽しく進められてきた。また、一つ一つの活動の時間をゆったりと取り、余裕のある保育で保育士とのかかわりも十分とりながら援助してきた。</p>	<p>コロナ禍での行事の変更や、保育の進め方を見直しながら進めてきたが、保育理念や目標から大きくかけ離れないよう注意してきた。今年度も保護者参観が出来なかったが、個別面談で保育園の様子や、現在の取り組みなどを説明し、共感してもらうべき、保育内容の写真の張り出しなどを行ってきた。</p>
	健康管理・食事	<p>以上児のマスクが日常化され感染対策になっていることで、手洗いやうがいだけでなく、マスクの取り扱いにも十分配慮してきた。また、こまめな水分補給や時間を決めての換気の徹底。食育を通しての健康管理や、食事のマナー、三角食べなどを促し、年齢に合わせた指導を行ってきた。</p>	<p>毎朝の視診や検温の管理など、職員間での共通理解に一層力を入れて進めてきた。また、行政からの情報の収集を看護師を中心にを行い、確認をしながら職員間での共通の理解に努めてきた。新型コロナの感染者が出たことや、濃厚接触者については一斉メール配信で迅速な対応ができた。</p>
	保育環境	<p>新型コロナの感染予防（うがい手洗い）に、玩具の扱いにも十分注意し、消毒や洗ってあるものを使うようにし、こまめな対策を講じた。また、戸外での活動を増やしたり、中庭やテラスを有効に使い、密になる時間を少なくするなどの対策を実施してきた。</p>	<p>換気や消毒など衛生面には十分気を付けており、オゾン機を使うことで、空気の洗浄のみならず、害虫の侵入を防ぐ事ができた。衛生面では、ペーパータオルの消費が多くなり、無駄にならない様子も子どもたちに伝えながら進めてきた。こまめな玩具の消毒には保育補助の職員が奮闘しながら実施できた。</p>
	子育て支援	<p>毎日の保育の様子を保育室前（テラス側や玄関）に写真の張り出しや作品の展示をするなどして、保護者に伝えられるよう工夫を行ってきた。さらに連絡帳も普段より多く活用してきた。今年度も保育参観ができなかったため、個別面談の期間を長くし、感染対策をしながら全員に行い、家庭での様子や不安なことがないか等の話を聞くことができた。</p>	<p>今年度も保護者には保育室外での受け入れを継続している為、写真の張り出しが続いているが、特に問題なく保護者の理解を得られている。子育てをしている中で、悩みを抱えている保護者には個別の対応をし、園長や主任を交えて相談に乗ったり、担任とのやり取りで解決できる方向へ持っていく。</p>
	地域住民や関係機関などの連携	<p>コロナ禍で小学校との交流ができなくなっていたが、近隣の小学校の1年生からの紙コップのけん玉やどんぐりゴマなどが届き、年長児がとても喜んで遊んでいた。お礼の手紙を書いたり、遊んでいるところの写真を送ることができた。 施設見学者等は、引き続きテラス側から行い、説明を丁寧に進めてきた。</p>	<p>今年度も、外部機関との交流はできなかった。近隣の老人ホームや同法人との交流も感染対策が難しく実施できなかったが、園内の畑やプリンターを利用してみんなで芋ほりの体験ができたことは良かった。</p>
	運営管理	<p>感染対策をしながら多目的ホールを使い、換気をしながらの会議を進め、月の反省や問題点などを事前にまとめて、短時間で会議が終わるようにしたり、会議に出ていない職員にもきちんと伝達し、共通理解が進められるよう主任を中心に行ってきた。情報が地域によって少しずつ違っているので、法人内の園での情報を参考にしながら進めてきた。</p>	<p>地域行政との連携をしっかりと、現状のコロナ禍での対応にずれがないよう、情報の収集と職員全体での周知をしっかりと取ることを念頭に進めてきた。保護者の参観ができない行事もできてしまったが、新たな行事（園外保育：法人内園児バス）も取り入れることができ、楽しみを増やすことができた。</p>

令和 3 年度 童話館保育園事業報告書

2021年度は、新型コロナの感染が拡大し日々不安を感じながら、どのような保育をすべきか問われる年度となりました。保育理念にあるみんなが楽しい保育園を目指し子どもに寄り添い、毎日の保育を大切にふれあい遊び等に力を注ぎました。

また、保護者参加型の行事においては、規模を縮小し、実施する際には感染防止対策を図りました。感染拡大防止対策の為、空気清浄機や手指消毒用のアルコールや職員用マスク、手荒れ防止クリーム等補助金を利用し確保し、保護者が安心して子どもを預けられる環境整備に力を入れました。保護者からは、しっかり対策をしてくれているので安心して預けられる。行事も工夫しながら実施してくれ感謝しているとの嬉しい話が聞けました。

次年度も子ども達の健やかな成長につながるよう、一人ひとりの個性や特徴を尊重し、自己肯定感が持てるよう努めていきたいと思えます。

1. 保育園の運営

ア) 利用者状況

クラス	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5歳児	12	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
4歳児	12	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
3歳児	12	12	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
2歳児	12	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	14	14
1歳児	14	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
0歳児	8	6	6	6	6	6	6	7	7	7	7	7	7
合計	70	73	72	72	72	72	72	73	73	73	73	72	72

イ) 職員体制 (計 19 名) 4月1日現在

園長	1名	保育士	8名	栄養士	1名
主任保育士	1名	非常勤保育士	4名	調理員	1名
副主任保育士	1名	看護師	1名	補助職員	1名

2. 保育の実施状況

- 指導計画に基づいた計画的な保育を行うことで情緒が安定し心身共に健康的な生活を送れるよう取り組んだ。
- 各園児の発達状況に合った保育を展開し、規則正しい生活習慣を身につける為の援助を行った。

- 定期的に異年齢保育を取り入れることで、思いやりや憧れの気持ちを持たせ向上心を養った。

主な園内・園外行事

実施日	内 容	場 所
4/1 (木)	入園式	童話館保育園ホール
5/27 (木)	防犯教室	童話館保育園ホール
7/7 (水)	七夕	各保育室
7/9 (金)	お祭りごっこ	童話館保育園内
8/20 (金)	お楽しみ保育 (5 歳児)	童話館保育園内
9/3 (金)	老人福祉施設訪問 (5 歳児)	ツクイ
10/8 (金)	運動会 (クラスごと)	童話館保育園園庭
10/27 (水)	サツマイモ堀り	童話館保育園園庭
10/29 (金)	ハロウィンパーティー (4.5 歳児)	各保育室
11/19 (金)	お店屋さんごっこ (4.5 歳児)	各保育室
12/17 (金)	発表会	童話館保育園ホール
12/28 (火)	終業式	童話館保育園ホール
1/4 (火)	始業式	童話館保育園ホール
2/3 (木)	節分 (各クラス)	各保育室
2/18 (金)	なわとび大会 (4.5 歳児)	童話館保育園園庭
3/3 (木)	ひなまつり	各保育室
3/4 (金)	交通安全教室 (4.5 歳児)	各保育室
3/9 (水)	お別れ会	童話館保育園ホール
3/30 (水)	卒園式 (5 歳児)	童話館保育園ホール
3/31 (木)	修了式 (3.4.5 歳児)	童話館保育園ホール

※ その他クラス懇談会(保護者)、誕生会 (毎月)、個人面談、保育参観等

ア) 健康管理

- ・内科検診 年2回実施 (6/10・28, 11/11・29)
- ・歯科検診 年2回実施 (6/17、11/18)

イ) 食育 (給食)

- ・季節の素材や郷土の食材を積極的に取り入れ、「食を楽しむ」ことに取り組んだ。
- ・クッキングの活動の中で、体験を通して実際に作る楽しさを感じ、食への関心を深めることができた。
- ・畑で季節の野菜を育て、育てることの大変さ・収穫する喜び等を体験することができた。
- ・保護者や医師と連携し、アレルギー除去食の提供を行った。(給食会議 月1回)

ウ) 安全対策

- ・ヒヤリ・ハット報告書の事例を検証し事故要因を解消に努め、事故件数の減少に取り組んだ。
- ・災害時に備え避難訓練を行った。

実施日	内容	消防立合	実施日	内容	消防立合
4/22	地震	無	10/26	台風による水害	無
5/20	火災	無	11/25	火災	無
6/24	火災	無	12/23	火災	無
7/29	地震(通報訓練)	無	1/26	火災(通報訓練、消火器訓練)	無
8/29	風水害	無	2/25	地震	無
9/9	地震(引き渡し訓練)	無	3/11	火災	無

※不審者訓練(年3回 5/27・9/16・1/14実施)

3.職員

ア) 衛生感染対策

- ・定期健康診断(11月) ・ 保菌検査(調理担当、未満児担当は毎月実施)
- ・インフルエンザ予防接種(職員全員接種)

イ) 会議

- ・職員会議(毎月)

子どもが安心して楽しめる環境づくりを目指し、クラスごとの様子や各家庭の状況を話し合い情報・認識の共有に努めた。行事においては反省会を開き、翌年以降の課題を取りまとめた。

ウ) 園内・園外研修

- ・職員の資質向上を目指し各研修に参加した。

※今年度はコロナの影響でリモートでの研修が行われた。

園内研修状況

開催日	研修名
4/19(月)	食中毒について予防策
4/21(水)	消毒液作成について、災害時、不審者対策について
4/22(木)	嘔吐処理の仕方
4/30(金)	保育士の在り方、人権尊重・虐待について
5/6(木)	けいれんについて
5/7(金)	SIDSについて
5/17(月)	一時保育について、電話対応について
6/11(金)	プール・プールカードについて、沐浴について

6/15 (火)	予防接種について
6/23 (水)	食中毒について、消毒液の作成について
6/24 (木)	アレルギーについて
6/25 (金)	嘔吐処理について
7/14 (水)	夏に流行する感染症について
7/30 (金)	熱中症について
8/27 (金)	子どもの言葉かけについて
9/15 (水)	手遊び・リトミックについて
10/28 (木)	冬の感染症について、嘔吐処理について
11/14 (木)	保護者対応について
11/15 (金)	アレルギーについて
12/22 (水)	歯の予防について
1/14 (金)	食物アレルギーについて
1/19 (水)	伝承遊びについて
3/10 (木)	絵本の読み聞かせについて

園外研修状況

開 催 日	研 修 名
5/8 (金)	園長研修(ポストコロナ時代の園運営を考える)
6/29 (火)	土浦地区私立保育協議会総会
8/6 (金)	保幼小接続推進のための合同研修会
9/15 (水)	令和3年度保育士(中堅)研修Ⅰ
9/22 (水)	令和3年度保育士研修Ⅰ
10/4 (月)	食物アレルギーの栄養
10/14 (木)	令和3年度民間保育園園長会議
10/18 (月)	施設長研修会
10/18 (月)	園で考えるSDGS・ESD(入門編)
10/28 (火)	令和3年度保育士(中堅)研修Ⅱ
11/24 (水)	令和3年度食育研修会
11/29 (月)	令和3年度保育施設における感染症対策研修
12/20 (月)	乳児保育の役割
1/31 (月)	主任保育士研修

5.家庭との関わり

- ・園だよりを発行し保護者に園内での活動を伝えた。

- ・未満児は保護者と毎日連絡帳の交換を行ない、家庭での生活と園での生活の情報を共有した。

- ・緊急時の連絡方法としてオクレンジャー（配信システム）を利用する。

ア) 保育参観

- ・年2回 保護者参観を設け、園内での子どもの様子を見てもらう。

イ) 苦情・要望

- ・保護者からの苦情・要望に対して迅速に説明または改善を行うが、今年度は無かった。

6.地域とのかかわり

※地域で開催される様々なイベントへの参加は出来なかった。

	項目	評価項目	
		現状（良かった点・悪かった点）	改善点及びその取り組み
子どもの発達援助	保育の方法・内容	昨年度同様、縦割り保育や異年齢児合同の集団遊びを取り入れる事が難しく、保育、行事の見直しをし、目的を明確に子どもの育ちに合った保育を大切にできた。行事も合同が難しくなる事で年上の子への憧れを持つ機会が減る事がないように戸外での活動には未満児クラスも見学に行き参加した。	各クラスに居ても園全体で同じ雰囲気を感じられる事が出来た。また、保護者参加の行事においては、年齢ごとに日時を設定しコロナ禍でも以前と変わりなく参加してもらえるように工夫をしていく。 その時の状況を把握しながら、保育や行事を取り組めるよう常に情報収集に努めていく。
	発達援助の基本	未満児・以上児会議の際、それぞれ各クラスの現状を毎月話し合い、子どもの発達状況やクラスでの援助方法等を挙げ、共有できるように努めた。担任同士の横のつながりや連携、学年ごとの発達段階を明確にする事で、保育に反映する事が出来た。会議を通して園全体で対応していくことが保育の質の向上につながられるようにした。	コロナ禍により、行事の変更・内容の見直しをし、行事本来のねらいや年齢に沿った取り組み方法が反れないよう協議し進めていく。月間指導計画で疑問点や不足部分を話し合い、分かりやすいよう文章にて明確に表す事で指導につなげる。
	健康管理・食事	感染症対策の為、手洗いうがいの徹底・確認を行い、子ども達自身も意識できるよう日々声掛けをした。また、その際順番を待つ間隔も保てるよう床にマークで示した事で子ども同士理解して気付けるようになった。瘧疾時同時に対応できるように、全クラスに瘧疾対応法とチェックリストを常備した。食育指導を通して、食事の大切さやマナー、季節ごとの旬野菜等伝え、「食」に関心が持てるようにした。アレルギー除去食では、職員間で何度も会議をし常に共通理解を心掛け進めてきた。	感染症やけいれんによる対応方法、嘔吐処理法の実践研修等どんな場面にも敏速に行えるよう定期的に確認するようになった。 4色食品群の円グラフを基に年長児が毎日給食のメニュー分けを行って栄養士と確認し合う取り組みを続けている事で、食のエネルギーについて関心をもてるようになった。アレルギー除去食においては、ミスの無いよう報告を密に行っていく。
	保育環境	子どもが安心安全・衛生的に過ごせるよう毎日安全点検や園全体のアルコール消毒をしっかりと行っている。玩具も小分けし、消毒済みと使用後に使い分けて使用している。掃除チェック表も内容を見直した。園生活において、子どもが安定した環境で過ごせるよう寄り添ったり、愛着関係を築いたり、職員間が常に成長を共有し合い保育するよう心掛けた。	子ども目線・保護者目線になり園全体の環境整備に気を配り、誕生児の写真を掲示してもらえよう取り組んでいる。 また、駐車場においての注意喚起も門や園だよりにおいて呼び掛け、事故防止にも繋げる。午睡が中々入眠できない子への個々の対応や安眠へと繋げる工夫を職員間で意見交換していく。
	子育て支援	衛生面において保護者が安心して預けられるよう、AIカメラの検温や手指消毒の徹底に努めた。また常に健康状況を把握し、保護者との連携を心掛けた。未満児は連絡ノートを使用し以上児はホワイトボードにて園での様子を知らせ、子育ての情報共有をした。また個人面談を行い、個々に気になることや園でのようすや成長の喜びを保護者と共有できるよう心掛けた。	子育てでの悩みがあれば、相談しやすい環境をつくりいつでも対応できるようにしていく。 保護者や祖父母からの要望・意見で吸い上げられるものはなるべく添っていき。また、質問事項等の際は必ず職員間で情報共有し、返答や対応を行う。
	地域住民や関係機関などの連携	新型コロナウイルス感染症防止の為、保育園見学者は外からの見学という対応を事前に了承を得て行う。行事や概要も口頭だけでなく写真等を見てもらい、分かりやすいように補ってきた。 地域交流は今まで同様には行き来したり触れ合ったりできない分、代表者がプレゼントを届けたり、小学生と文書にて交流を図ったりと違う方法で行えるようにしている。	コロナ禍により、回数を減らさざるを得ない現状もあるので、貴重な経験や交流を大事にしていく。 一時預かり事業も夏～初冬頃まで常に利用希望者がいるが、入所状況などにより預かれな場合もある。今後も関係機関、地域との連携に取り組んでいく。
	運営管理	コロナ対策により、会議の縮小やグループに分かれて短時間で数回行う。それぞれに周知すべきことは、再度朝礼での周知や以上児・未満児職員に分けて一斉伝達を行うようにしている。園内研修では、個々に受けたWEB研修など内容が被らないよう行っている。常にステップアップできるように心掛けた。防犯カメラやアルソック設置を取り入れる事でより安心安全な運営を行う事が出来る。	保護者対応や子どものケガや伝達事項等今まで以上に情報共有できるよう延長連絡簿をしっかりと活用し、職員同士の共通理解をしていく。 アルソックとは年1～2回避難訓練時に連動訓練の取り組みをする事で危機管理の心得や安全対策を再確認していきたい。

令和3年度 りんりん保育園事業報告書

令和2年から感染拡大している新型コロナウイルス・オミクロン株は、現在も収束するどころか先が見通せない状況が続く中、引き続き子どもたち及び職員の健康・安全を守ることに配慮しながら保育を行ってきました。石岡市保育施設従事者へのコロナワクチン優先的接種により、一般よりも早々に受けることができ、職員の安心を得ることもできました。また、本部で購入して頂いた抗原検査キットが全職員に配布され、職場における積極的な検査の実施につながりました。しかし、今年度のさまざまな行事等も通常通りとはいかず、内容の変更、縮小したり人数制限をしながらの実施となりましたが園児も楽しむことができ、保護者からも好評を頂くことができました。

また、自粛期間中は園庭からの園児受け渡しにするなどの対策を講ずる中、子どもたちの日常の様子（園内行事等）を写真で知らせるなど「見える保育」を意識してきました。

今後も、みんなが毎日楽しく過ごせるように安全な環境づくりを心がけていきたいと思っています。

1. 保育園の運営

ア) 利用者状況

クラス	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5歳児	12	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
4歳児	12	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
3歳児	12	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
2歳児	12	12	12	12	12	13	13	13	13	13	13	13	13
1歳児	12	12	12	12	12	11	12	12	12	12	12	12	12
0歳児	10	1	2	2	2	3	5	6	8	10	10	10	10
合計	70	64	65	65	65	66	69	70	72	74	74	74	74

イ) 職員体制 (計21名)

園長	1名	保育士	6名	栄養士	1名
主任保育士	1名	非常勤保育士	7名	調理員	1名
副主任保育士	1名	看護師	1名	保育補助	2名

※ 今年度よりバスの送迎はなくなりました。

2. 保育の実施状況

- ・指導計画に基づいた計画的な保育を行うことで情緒が安定し心身共に健康的な生活を送れるよう取り組んだ。
- ・各園児の発達状況にあった保育を展開し、規則正しい生活習慣を身につける為の援助を行った。
- ・定期的に異年齢保育を取り入れることで、思いやりや憧れの気持ちを持たせ向上心を養った。

《主な園内・園外行事》

4/1	入園式	りんりん保育園ホール
4/30	こどもの日集会	3～5歳児対象（ホール）
5/12	野菜の苗植え	園庭（畑）
5/17～21	個人面談（未満児・以上児希望者）	空き室利用
6/4	歯みがき集会	3～5歳児対象（ホール）
6/7～11	保育参観	0～5歳児（各クラス）
7/7	七夕集会	0～2歳（各クラス）3～5歳（ホール）
7/9	夏まつり	2歳児～（ホール・園庭）
9/11	運動会	2～5歳児参加（園庭）
10/15	お楽しみ保育（カレー作り・トートバック製作）	5歳児（クラス）
10/29	ハロウィンパーティー	園舎内
11/3	林地区文化祭に参加・出店	林小学校に共同制作展示
11/12	みかん狩り	5歳児（13名）嶋村果樹園
12/4	発表会	2・3歳児（一部）4・5歳児（二部）
12/24	クリスマス会	3～5歳（ホール）0～2歳（各クラス）
1/14	ならせ餅	3～5歳児対象（ホール）
1/17・18	0・1歳児（保育参観）	各クラス・ホール
1/20	食育体験（畜産センター）	5歳児（バター・アイスクリーム作り）
1/31	すもう大会	3～5歳児（縦割保育）ホール
2/3	節分集会	3～5歳児（ホール・園庭）
2/25	お店やさんごっこ	全クラス（室内コーナー）
3/3	ひな祭り集会	3～5歳児（ホール）
3/22	お別れ会	全園児（ホール）
3/25	卒園式	3～5歳児参加（ホール）
3/31	修了式	全園児（ホール）

※ 2月の懇談会は中止とし、内容等は書面での説明となりました。

※ 個別面談（希望者）は随時受け付けています。

※ 今年度は恒例の柿岡ひな祭りが中止となりました。

ア) 健康管理

- ・内科検診 年2回実施（6/17 ・ 11/11）
- ・歯科検診 年2回実施（6/10 ・ 11/15）

イ) 食育（給食）

- ・季節の素材や郷土の食材を積極的に取り入れ、「食を楽しむ」ことに取り組んだ。
- ・クッキングの活動の中で、体験を通して実際に作る楽しさを感じ、食への関心を深めることができた。
- ・保護者や医師と連携し、アレルギー除去食の提供を行った。
- ・給食会議 : 離乳食会議（月1回）
給食の内容を検討したり改善点などを話し合った。
（アレルギー除去食について・離乳食の進め方等）

※給食室に食器洗浄機を購入して頂き、効率よく作業がはかどり、食の質の向上にもつながった。

ウ) 安全対策

- ・ヒヤリハット報告書の事例を検証し、事故要因を解消に努め、事故件数の減少に取り組んだ。
- ・災害時に備え、避難訓練を行った。

実施日	内容	消防立合い	実施日	内容	消防立合い
4/16	火災（地震）	無	11/5	地震・火災	無
5/14	地震	無	12/3	地震	無
6/3	火災（通報）	無	1/7	火災	無
7/16	近隣火災	無	2/4	風水害（竜巻）	無
8/4	地震	無	3/23	火災	無
9/10	地震（石岡市シェイクアウト訓練）	無			
10/1	火災（通報）	無			

※ 不審者訓練（年2回 7/30・11/26 実施）

※ コロナ感染拡大のため、立ち合い訓練は無しとなる。

3. 職員

ア) 衛生感染対策

- ・定期健康診断（11/10）保菌検査（毎月全員）
※ノロウイルス検査（1～3月）給食
- ・インフルエンザ予防接種（職員全員接種）・抗原キットの配布（職員全員）

イ) 会議

- ・職員会議（毎月）

子どもが安心して楽しめる環境作りを目指し、クラスごとの様子や各家庭の状況を話し合い情報・認識の共有に努めた。行事においては反省会を開き、翌年以降の課題を取りまとめた。

ウ) 園内・園外研修

- ・職員の質の向上を目指し各研修に参加した。
※今年度もコロナ感染の影響でリモートでの研修が行われた。

《園内研修状況》

4/5・6	保育士の心得・保健（熱性けいれんについて）・リトミック
5/20	目指したい保育園像（今年度の目標）・保健（SIDS）・リトミック
6/24	水遊び（水の事故・プールカード・日誌）・保健（とびひ）・リトミック
7/15	小学校との連携（アプローチカリキュラム）・リトミック
8/19	食物アレルギーについて・リトミック
9/16	保護者の障害受容への支援・保健（けがと事故）・リトミック
10/21	嘔吐処理の仕方・保健（衛生と環境）・リトミック
11/25	未満児マニュアル・感染症について・リトミック
12/16	行事の取り組み方と時期について・リトミック
1/24	食品衛生について・保健（救急対応）・リトミック
2/28	障害児保育について・保健（子どもの心肺蘇生法）・リトミック
3/17	一年間を振り返って・保健（注意が必要な食材）・リトミック

《園外研修状況》

7/15	看護職員研修「夏の深刻事故予防と安全：感染症流行下で」※オンライン
7/28	第1回保幼小接続担当者研修「幼児教育と小学校の円滑な接続」※リモート会議
8/5	第2回保幼小接続担当者会議「特別な配慮を要する子どもの育ちと学びをつなぐ」
9/1	SDGs研修「園で考えるSDGs・ESD」※オンライン
9/1	保育士研修「まなざしで保育が変わる」※オンライン
9/2	保育内容共同研究のあり方「現場で必要を感じている自由テーマ」※オンライン
9/7	保育士研修「まなざしで保育が変わる」※オンライン

9/30	保育士研修「まなざしで保育が変わる」※オンライン
10/19	第3回保幼小接続担当者研修「幼児教育と小学校教育の相互理解に向けて」
10/28	保育士（中堅）研修Ⅱ・「あそびの中で子どもは育つ」※オンライン
11/29	保育施設：感染症対策研修会「感染症発生時における保健所の対応」オンライン
12/15	食育研修会「食物アレルギーの栄養と調理の工夫」
12/27	児童福祉施設給食関係者研修「第4次食育推進基本計画を踏まえた食育推進」
12/1・6・13	保育士研修Ⅱ「乳幼児保育の役割」※オンライン
12/23	学校等欠席者・感染症情報システム ※オンライン

4. 家庭との関わり

- ・園だよりを発行し保護者に園内での活動を伝えた。
- ・未満児は保護者と毎日連絡帳の交換を行い、家庭と園での生活の情報を共有した。
- ・緊急時の連絡方法としてオクレンジャー（配信システム）を利用する。

ア) 保育参観

- ・年2回、保護者参観を設け、園内での子どもの様子を見てもらう。
※今年度は、前期（6月）は実施できたが、後期は、コロナ感染拡大の影響で、2歳児からは発表会を参観とし、0.1歳児のみクラスごとに、人数制限・時間短縮で行った。

イ) 苦情・要望

- ・保護者からの苦情・要望に対して迅速に説明または改善を行う。
※今年度は特になし

5. 地域との関わり

※コロナ禍の中、老人施設との交流はできなかったが、地域での行事（展示等）にはできる範囲で参加した。

【林地区文化祭：絵画制作の展示】 ※恒例の八郷ひな祭りの中止

令和3年度 自己評価結果

りんりん保育園

	項目	評価項目	
		現状（良かった点・悪かった点）	改善点及びその取り組み
子どもの発達援助	保育の方法・内容	・昨年度に続き、保育・行事の見直しをし、目的や効果を話し合いながら常に、子どもの育ちを中心に置き、「子どもの主体性」を大切に保育をしてきた。自ら「やってみたい」を引き出す保育を心がけた。また、コロナ禍で子どもの情緒が不安定にならないよう明るく保育できた。	・常に、行事（園内も含む）保育内容の見直しをしながら「子どもの主体性」を引き出す保育（環境づくり・言葉かけ等）を探索している。行事・保育を進める中で、内容を保育士が一方的に決定するのではなく、子どもたちが楽しみながら豊かな発想力で意欲的に関わられるようにする。
	発達援助の基本	・各クラス、一人ひとりの発達状況を知る中で、その子にあった援助や計画を立てて保育している。また、気になる子への対応では、子どもの年齢ではなく発達段階に合わせて援助していく。保育会議で話し合いを持ちながら園全体で関わることで保育の質の向上につながる。	・未満児から年長児（就学前）までつながるおおよその目安となるマニュアルをもとに共通理解や意識を高めながら保育してきた。今後も気になる子も含め、保育会議等で話し合いながら、園全体で子どもたちの成長を見守っていけるようにしていきたい。
	健康管理・食事	・感染予防のために手指消毒・手洗い・うがい・換気の徹底と検温を毎日行っている。健康診断（年/2回）・身体測定（月/1回） ・アレルギー除去食への対応（職員間で共通理解のもと進めている） ・栄養士による食育指導	・市の指導、感染対策マニュアルを元に、感染対策を継続していく。コロナ感染（濃厚接触者）対応に関しては保健所・市の指導を仰ぐ。 ・看護師による感染症等保健会議の開催と周知。 ・除去食のミスがないように報告を密に。
	保育環境	・子どもが安全に過ごせるよう、安全点検やアルコール消毒を行っている。 ・園内での全体集会をなくし、各クラスごと、未満児・以上児に分けて時間を短縮して小規模での集会とした。 ・コロナ禍であっても密は避けられないので安心できる環境作り及び対応をしていく	・職員・園児・保護者共に感染症対策の意識を高めていった。 ・通常保育に加え、備品等の消毒作業が増えたが共通理解のもと協力しながら行っていく。 ・未満児・以上児に分けての集会のほうが集中できて過ごせているので継続も良い。
子育て支援	・在園児子育て支援については、未満児は連絡ノート、以上児はホワイトボードにて1日の様子を知らせながら子育ての共有をしてきた。また、園での様子を写真で知らせるようになった。 ・一時保育預り ・希望に応じて面談・子育て相談	・今年度、オクレンジャーを使用して、早急に伝達がされ、有効に活用できた。今後も活用していく。 ・保護者が子育てで悩む事があれば相談しやすい窓口になれるような環境作り。	
地域住民や関係機関などの連携	・感染を防ぐため、外部との交流は中止も含め少なかった。（文化祭絵画の展示等） ・5歳児健康診断は例年通り実施された。 ・感染予防をした中で、保育園見学者に対応。	・引き続き感染症対策をしながらできる範囲での参加、対応をしていく。	
運営管理	・日々のシフトの作成により、無駄なく業務が回せるようになっていく。 ・会議も事前に担当がまとめることで短時間で効率的に進められている。 ・キャリアアップ研修者が各分野のリーダーとなり自信をもって活躍する。	・職員同士、保育に対する共通理解のもとチームワークを大切にし、協力しながら働きやすい職場づくりを目指していく。 ・向上心を持って保育しながら、失敗を恐れずに挑戦していく。話し合える環境づくり。	